

教育省、学生の卒業率・修了率に基づくコミッションを大学が学生募集業者に支払うことを禁じた規則を撤廃（11月30日）

教育省（Department of Education）は11月27日、学生の卒業率・修了率に基づくコミッションを大学が学生募集業者に支払うことを禁じた規則に関し、これを撤廃することを正式に発表した。この変更は、営利大学が提起した2件の訴訟において、いずれも連邦裁判所が営利大学側の主張を認める判決を下したことが背景にある。但し、入学者数に基づく報酬を大学が学生募集業者に支払うことを禁じた連邦法には変更はない。教育省が発表した変更を受けて、これら2件の訴訟を提起した、営利大学で構成される民間セクタ大学協会（Association of Private Sector Colleges and Universities：APSCU）の会長兼CEOを務めるスティーブ・ガンダーソン氏（Steve Gunderson）は、APSCU加盟大学の教育を受ける学生に良い成果をもたらすという、APSCUの広大なミッションの勝利であるとコメントし、教育省の決定を称賛した。

なお、教育省による発表は、<<http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/FR-2015-11-27/pdf/2015-30158.pdf>>からダウンロード可能。

Inside Higher ED, *Reversal on Recruiter Bonus Pay*

<https://www.insidehighered.com/news/2015/11/30/us-loosens-part-its-ban-college-recruiter-pay>